CBL-CAS建築-0072-24 結果(SDGs評価なし)

■使用評価マニュアル: CASBEE-装飾(新修)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD NC 2021SDGs(v1.2



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■「フィブサイブルCO2」ことは、建業物の命格主体・建設から連用、以修、腓体廃業に主る一主の同の一般化灰素排出量で、建業物の寿命平数ではした
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

している。

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (仮称)萬飾区奥戸物流施設計画【地域貢献施設模】

■使用評価マニュア CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■評価ソフト: CASBEE-BD NC 2021SDGs(v1.2)

スコ	^{陈)} 葛飾区奥戸物流施設計画【地域貢献施設棟】	■評価ソ		CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.				
	アシート 実施設計段階							
記慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	建築物の環境品質			1/1/3/2		JA 32	3.6	
	室内環境			0.35		-	2.8	
1	音環境		2.2	0.15	•	-	2.2	
	1.1 室内騒音レベル		1.0	0.40	-	-		
	1.2 <u>遮音</u>	<mark></mark> 遮音性能T−2	4.2 5.0	0.40 0.60	-	-		
	2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	<mark>-</mark> -	3.0	-		_		
	4 界床遮音性能(重量衝擊源)			_		_		
	1.3 吸音		1.0	0.20		_		
	温熱環境		2.0	0.35		-	2.0	
	2.1 室温制御		3.1	0.50	-	-		
	1 室温	_	3.0	0.44		-		
	2 外皮性能	断熱性能の高い建材を使用	3.7	0.21	-	-	l	
	3 ゾーン別制御性		3.0	0.35		-		
	2.2 湿度制御		1.0	0.20		-		
	2.3 空調方式	_	1.0	0.30		-		
	光・視環境		3.0	0.25		-	3.0	
	3.1 昼光利用		3.0	1.00	-	-		
	1 昼光率		-	-		-		
	2 方位別開口	- _		-		-		
	3 昼光利用設備	-	3.0	1.00		-		
	3.2 グレア対策 1 屋光制御	\dashv _	-	-	•	-		
		<u>-</u>	-	-	-	-		
	3.4 照明制御	- _	-	-	-	-		
	空気質環境		4.2	0.25		-	4.2	
	4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	4.2	
	1 化学污染物質		4.0	1.00				
	4.2 換気		4.0	0.30		-		
	1 換気量		5.0	0.50		_	l	
	2 自然換気性能	_	-	-		_		
	3 取り入れ外気への配慮	_	3.0	0.50		_		
	4.3 運用管理		5.0	0.20		-		
	1 CO ₂ の監視	-		İ		i		
				-		-		
	2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00		-		
2		全館禁煙	5.0 —	1.00	-	-	3.6	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性	全館禁煙	3.7	0.30 0.40	-	- - -	3.6 3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ	全館禁煙	-	0.30	- - -			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性	全館禁煙	3.7	0.30 0.40	-			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応	全館禁煙 - - -	3.7 3.0 -	0.30 0.40 0.40 - -	- - - - - -			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画	全館禁煙	3.7 3.0 - - 3.0	0.30 0.40 0.40 - - 1.00	- - - - -			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性		3.7 3.0 - - 3.0 5.0	0.30 0.40 0.40 - - 1.00 0.30	- - - - - - -			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観	全館禁煙	3.7 3.0 - - 3.0	0.30 0.40 0.40 - - 1.00				
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性		3.7 3.0 - - 3.0 5.0	0.30 0.40 0.40 - - 1.00 0.30				
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ		3.7 3.0 - - 3.0 5.0 - 5.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50	7			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性		3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50	- - - - - -			
	2 喫煙の制御 サービス性能機能性 4 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.30	- - - - - - - -			
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 - 5.0 - 4.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.30	- - - - - - - -		3.6	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理に配慮した設計 2 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.30 0.50 0.50	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 3.5 4.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 耐用性・信頼性 2.1 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 耐用性・信頼性 2.1 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 2.2 部品・部材の耐用年数	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 2.2 部品・部材の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数	ー ー 平均天井高≥3.6m ー 建物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画 防汚性の高い内外装仕上げの採用等 ー	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 耐用性・信頼性 2.1 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 2.2 部品・部材の耐用年数	ー ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 耐震・免震・制震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 2.2 部品・部材の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数	ー ー ー 一 一 連物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画 防汚性の高い内外装仕上げの採用等 ー ー ー ガルパリウム鋼板(塗装) 床: 浸透性表面強化材・ピ=ル床タイル、壁:ピ=ルクロス、天井: 化粧塩ピ	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 - 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1 維持管理 1 維持管理用機能の確保 1 維持管理用機能の確保 1 を表・制振 2 維持管理用機能の確保 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性 2.1 耐震・免震・制震・制振性 1 駆体材料の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ー ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 - 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.30 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20 0.10	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 耐震・免震・制振 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 2.1 部品・部材の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数 1 躯体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ー ー 一 一 一 連物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画 防汚性の高い内外装仕上げの採用等 ー ー ー ガルパリウム鋼板(塗装) 床: 浸透性表面強化材・ビニル床タイル、壁:ビニルクロス、天井: 化粧塩ビ フィルム		0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10	-	-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保	ー ー ー 一 一 連物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画 防汚性の高い内外装仕上げの採用等 ー ー ー ガルパリウム鋼板(塗装) 床: 浸透性表面強化材・ピ=ル床タイル、壁:ピ=ルクロス、天井: 化粧塩ピ		0.30 0.40 0.40 0.40 - 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7	
	2 喫煙の制御	ー ー 一 一 一 連物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画 防汚性の高い内外装仕上げの採用等 ー ー ー ガルパリウム鋼板(塗装) 床: 浸透性表面強化材・ビニル床タイル、壁:ビニルクロス、天井: 化粧塩ビ フィルム		0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20		-	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.50 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7	
	2 喫煙の制御	ー ー 一 一 一 連物全体のコンセプト、機能促進に配慮した内装計画 防汚性の高い内外装仕上げの採用等 ー ー ー ガルパリウム鋼板(塗装) 床: 浸透性表面強化材・ビニル床タイル、壁:ビニルクロス、天井: 化粧塩ビ フィルム	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7	
	2 喫煙の制御 サービス性能 機能性 1.1 機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 3 パリアフリー計画 1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 1.3 維持管理 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 1 耐震性(建物のこわれにくさ) 2 免震・制震・制振性能 2 免震・制震・制振性能 2 免害・制震・制振性能 2 免害・制宗・制振性能 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の種修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔 2.4 信頼性 1 空調・換気設備 2 給排水・衛生設備	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	3.7 3.0 - - 3.0 5.0 5.0 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7	
	2 喫煙の制御	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	3.7 3.0 - 3.0 5.0 5.0 5.0 3.5 4.0 3.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.40 0.40 1.00 0.30 0.50 0.50 0.50 0.50 0.30 0.50 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.7	

CBL-CAS建築-0072-24 スコア

3	対応性	生•更新性		3.8	0.30		-	3.8
	3.1	空間のゆとり		4.2	0.30		-	
		1 階高のゆとり	飲:3.5m以上、工:3.7m以上	4.4	0.60			
							_	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.3	4.0	0.40		-	
	3.2	荷重のゆとり	工:床用積載荷重4500N/㎡以上、架構・地震用荷重の割増あり	3.9	0.30		_	
		設備の更新性		3.4	0.40			
	3.3	#*************************************					-	
		1 空調配管の更新性	 -	3.0	0.20		-	
		2 給排水管の更新性	=	3.0	0.20		_	
			配管配線等により仕上材を傷めず更新・修繕が可能					
		3 電気配線の更新性		5.0	0.10		-	
		4 通信配線の更新性	配管配線により仕上材を傷めず更新・修繕が可能	5.0	0.10	-	-	
		5 設備機器の更新性	_	3.0	0.20		_	
			_					
	L			3.0	0.20		-	
Q3		環境(敷地内)			0.35	-	-	4.4
1	生物理	環境の保全と創出	空地の緑化、既存緑地の保存等の取り組み	4.0	0.30		-	4.0
2		お・景観への配慮	まちなみに配慮した景観計画	5.0	0.40		-	5.0
			or y or y reading or exposure in					
3		生・アメニティへの配慮		4.0	0.30		-	4.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	備蓄倉庫の設置による防災機能強化	4.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	空地部分の緑化、高温排熱機器の無設置等	4.0	0.50	-	-	
I D		物の環境負荷低減性						3.4
				ļ	-		-	3.4
LR1	エネノ	レギー			0.40	-	-	3.2
1		外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.84	4.6	0.20		-	4.6
	· ·							
2		エネルギー利用		3.0	0.10	•	-	3.0
3	設備シ	システムの高効率化	BEIm=0.79	3.1	0.50	•	-	3.1
4		内運用		2.5	0.20		-	2.5
		集合住宅以外の評価		2.5	1.00			
			1	-		•	-	
		4.1 モニタリング] -	3.0	0.50		-	
		4.2 運用管理体制	 -	2.0	0.50		-	
		集合住宅の評価	1					
					-		-	
		4.1 モニタリング	 -		-		-	
		4.2 運用管理体制	 =	_	_	-	-	
LBa	海河.	・マテリアル		_	0.30		-	3.8
LRZ						-	-	
1	水資源	原保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	自動水栓・節水型便器等を採用	4.0	0.40		-	
		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
	1.2						-	
		1 雨水利用システム導入の有無] -	3.0	0.70	•	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無	=	3.0	0.30		_	
2	北西人	生性資源の使用量削減		4.3	0.60		_	4.3
2			共三、10回140年,10年,10年,10年,10年,10年,10年,10年,10年,10年,1			•	_	4.3
_		材料使用量の削減	杭頭半剛接合構法、合成スラブの採用等5つの取組み	5.0	0.00		-	4.3
2	2.1	材料使用量の削減	杭頭半剛接合構法、合成スラブの採用等5つの取組み -				-	4.3
_	2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用	_	5.0 3.0	0.11 0.22		-	4.3
2	2.1 2.2	材料使用量の削減	- 柱・大梁に電炉鋼を採用	5.0	0.11		- - -	4.3
2	2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・	5.0 3.0 5.0	0.11 0.22		-	4.3
2	2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用	- 柱・大梁に電炉鋼を採用	5.0 3.0	0.11 0.22 0.22		-	4.3
2	2.1 2.2 2.3 2.4	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・	5.0 3.0 5.0	0.11 0.22 0.22		-	4.3
2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0	0.11 0.22 0.22 0.22		-	4.3
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22	•	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 - 0.22		-	3.0
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22	•	-	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 - 0.22	•	-	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 - 0.22 0.30	-	-	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70	-	-	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 - 0.22 0.30	-	-	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70	-	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50	-	-	3.0
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピ=ル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生7スファルル混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50	-	-	3.0
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピール系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) ー	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33	-	-	3.0
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピ=ル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生7スファルル混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50	-	-	3.0
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 ・フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域就 也域就	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピ=ル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生7スファルル混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 5.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33	-	-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 5.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 3.0 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 -	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.4 3.7
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 助域状 也域状	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境での配慮 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 3.0 2.5	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 5,6 4 3.1 3.2 9 地域 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 静続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 表気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 55 55 2.6 3.1 3.2 2.1 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 静続可能な森林から産出された木材 静材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		-	3.4 3.7
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 55 55 2.6 3.1 3.2 2.1 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 3.0 2.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 55 55 2.6 3.1 3.2 2.1 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 静続可能な森林から産出された木材 静材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 55 55 2.6 3.1 3.2 2.1 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 最強への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 3.0 2.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 55 55 2.6 3.1 3.2 2.1 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 最強への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 3.0 2.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业球球型 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 排続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 「フロン・ハロンの回避 「消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 「雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 「服音・振動・悪臭の防止 「服音」と 「根語・振動・悪臭の防止 「根語音」を 「相語音」を 「根語音」を 「相語音」を 「根語音」を 「相語音」を 「相語音」を 「根語音」を 「根語音」を 「根語音」を 「根語音」を 「根語音」を 「根語音」を 「相語音」を 「根語音」を 「相語音」を 「相語音」を 「根語音画語画書 「相語音画語画書 「相語音画語画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 3.0 2.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业球球型 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 最強への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 3.0 2.0 2.0 2.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业球球型 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业球球型 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 まで表でいた。 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 集境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	ー 柱・大梁に電炉鋼を採用 ビニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・ 路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用 - - - - - -	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业球球型 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境不の配慮 また気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 2.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业球球型 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 まで表でいた。 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 集境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.7 3.3 5.0 3.0 2.5 3.0 2.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万条年 3.1 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 出数環インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生アスファルト混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万条年 3.1 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 廃棄物処理負荷抑制 5 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生7スファルル混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万条年 3.1 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環ウの配慮 大気汚染防止 温熱環ウンフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 張音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 3 日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生7スファルル混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3
3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万条年 3.1 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 廃棄物処理負荷抑制 5 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制	- 柱・大梁に電炉鋼を採用 ピニル系床材・ロックウール化粧吸音板(会議室等)、再生7スファルル混合物・路盤材(舗装部分) - LGS工法の採用	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 3.7 3.3

CBL-CAS建築-0072-24 スコア

CE	BL-CAS建築-0072-24														7	スコア
	BEE-建築(新築)2021年SDGs対応版														画【地域貢献	
	する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
	サービス性能												•	•		
1.2.3	内装計画	4.0	_	0	0	0	0	_	_	_	-					
1.3.1	維持管理に配慮した設計	6.0		0	0	_	-	_	0	0	-	0	0	_	_	_
1.3.2	維持管理用機能の確保	5.0		_	0	0	0	0	0	ı	ı	-	_	_	-	-
2.4.1	空調•換気設備	1.0		-	-	-	0	-								
2.4.2	給排水•衛生設備	1.0	1.0	0	_	_	_	_		_						
2.4.3	電気設備	1.0	1.0	_	-	0	-	-	-							
	通信・情報設備	1.0		-	_	Ŏ	_	_	-							
	室外環境(敷地内)									***************************************				<u></u>	***************************************	
1	生物資源の保全と創出	12.0		2.0	2.0	3.0	T -	1.0	1.0	1.0	1.0	_	1.0	_		
	まちなみ・景観への配慮	5.0		2.0	1.0	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0		1.0			
		4.0		<u> </u>	-	1.0	-		1.0	_	1.0					
	地域性への配慮、快適性の向上							1.0	_		1.0					
	敷地内温熱環境の向上	12.0		_	3.0	3.0	3.0	1.0			_	2.0				
LR1	エネルギー		14444444444													
2	自然エネルギー利用	_		_	_	_		_					_	_	_	
LR2	資源・マテリアル															
1.2.2	雑排水等再利用システム導入の有無			-	1	_	-	ı	-	ı	I					
2.1	材料使用量の削減	5.0		-	_	5.0										
	躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	_	1.0	_	_								
	部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		0	-	-	_									
	有害物質を含まない材料の使用	-														
	敷地外環境						1						1	r .		
		110		10		2.0	0.0	2.0		_	1.0					
	温熱環境悪化の改善	11.0		1.0	-	3.0	3.0	3.0	-	_	1.0	_	_			
	交通負荷抑制	1.0		-	-		_	1.0	-							
	廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	_		-	_						
3.2.2	砂塵の抑制	_		_	-											
3.3.1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											
+ +,																
4.2.2 Q2 1.1.1 1.1.2 1.2.1	昼光率 自然換気性能 サービス性能 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 広さ感・景観 リフレッシュスペース			U値(W/r 住戸部分 昼光率 自然換気 執務スペ コンセント 天井高 リフレッシ	・窓シス 0.0% 有効開口 ース ・容量	マテムU値 コ面積率 - - 3.825		· 病床 ·	屋根 h皮UA値 - スペース	/床	外壁 η AC シングル	=	床 η AH ツイン	-		
2.2.1	躯体材料の耐用年数			想定耐用	年数	-	年									
2.2.2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			想定必要	間隔	30	年									
2.2.3	主要内装仕上げ材の更新必要間	間隔		想定必要	間隔	20	年									
2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔			想定必要	間隔	15	年									
3.1.1	階高のゆとり			階高		3.6, 3.7	m									
3.1.2	空間の形状・自由さ			壁長さ比	率	0.231, 0.	290									
	荷重のゆとり			床荷重		2900 - 78										
	室外環境(敷地内)															
1	生物資源の保全と創出			外構緑化	指数	116%		建物緑化	指数	0%						
2 2	敷地内温熱環境の向上			空地率	87%			建物球化 影面積率			対策面積率	122%		舗装面積率	27%	
				土地华	8/%		小干技!	沙山貝平	42%	地衣田:	N) 東田恒平	122%		매衣 山 恒 平	21%	
LKI	エネルギー			DDI /25			Nor it to Art	at the fire are			+m viv					
1	建物外皮の熱負荷抑制			BPI/BPI			断熱等			対象外			45 45 4 40			
2	自然エネルギー利用			自然エネル	キー直接	利用量	0	MJ/年㎡			たす教室数			たす住戸数	0.0%	
											たす教室数			たす住戸数	0.0%	
3	設備システムの高効率化			BEI/BEIn	n	非住宅	0.79	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW	
LR2	資源・マテリアル															
1.2.1	雨水利用システム導入の有無			雨水利用	率	0.0%										
	躯体材料以外におけるリサイクル	レ材の使用	Ħ	特定調達		再生アス	- スファルト派	エコマー	ク商品	ビニル床	タイル、ロロ	治体指定の	特定品目等	_		
	持続可能な森林から産出された		•	使用比率		0.0%			- 17 HH	_ , _ , , , ,		- 14 7-14-2-16	··			
	消火剤	กราช		オゾン層				Hh ∓db (I	は ほんない	数(GWP)	_					
	発泡剤(断熱材等)			オゾン層			0			数(GWP)						
	冷媒			オゾン層	吸暖係数	(ODP)	0	地球沿	温暖化係	数(GWP)	_					
	敷地外環境															
2.2	温熱環境悪化の改善			見付面積			隣棟間隔									
				地表面対	等而结束	ic.	186.0%	F	最相索が	策面積率	0.09/	서롱주	対策面積率	0.0%		

26% 隣棟間隔指標Rw 9.02 186.0% 屋根面対策面積率

緑地 3,589㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面

 186.0%
 屋根面対策面積率
 0.0%
 外壁面対策面積率

 389㎡
 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws
 142.187 m
 基準高さHb

0.0%

10.43 m

mÎ

基準高さHb

m 再帰性反射対策面

見付面積Sb

地表面対策面積率